

第2回魚津市地域部活動推進協議会

- 1 日時 令和6年1月11日(木) 19:00~20:30
- 2 場所 ありそドーム 研修室
- 3 参加者 市体育協会 各スポーツ競技団体(13競技) 魚津商工会議所
市PTA連合会 市中学校長会 市中学校体育連盟 各代表
事務局：市教育委員会(事務局長 担当課長 担当)

4 協議内容

- (1) 令和6年度の実施体制
別添参照
- (2) 市のガイドライン(案)
別添参照



(3) 意見交換

○週1回の活動ではあるが意識高く活動している。今後、完全移行となれば、財源の確保を考える必要があり、指導者報酬に加え消耗品等でも支出があるため、受益者負担の金額を考慮し設定するべきである。

○令和7年度中に移行できなかった場合は、学校部活動として対応していくのか。

→国の推進期間という形で定めているのが令和7年度まで。競技によって様々な形があるため、令和7年度以降も試行しながら進めていく。指導者の確保を念頭におきながら学校から離れての合同練習会等で試行していく。

→部活動に所属生徒がいる限りその部活動をなくす方針にはならない。学習面だけでなく、部活動面でも高い目標をもっている生徒が多いため、活動機会を確保することで、その思いを尊重していきたい。

○県東部は、地域部活動について単位協会、体協、行政がよくコミュニケーションをとって進めているイメージがある。小学校のスポ少と違い中学校の部活動は指導者が少ない。緊急時の指導者の対応を含め検討していく必要がある。

○現在月4回の活動を行っており、スポ少やクラブの活動時間に合わせて中学生も合同で行っている。またスポ少終了後に一般と合同で活動する生徒もいるため、遅い時間帯での活動についても気になっている。

- 1回300円の練習費を徴収しており、消耗品費に充てている。
- 屋外での活動になるため冬季の活動場所が悩みである。
- 休日だけでなく、平日の活動も移行していけるか検討している。

- 来年度から中体連の大会への出場制限が緩和される。種目ごとに合同チームやクラブでの出場について可能になるため、登録要件を満たせるように検討していく。

- 教員の地域クラブ参加が任意となっているが、地域クラブ側と教員とで情報交換しながら、教員の兼職兼業も含め指導者の確保に努めたい。
- 活動に際して大きな荷物を運ぶ必要があるため、事前に保護者にアナウンスをお願いしたい。

- 現在は、外部指導者の方々のサポートのもと東西中学校単独でこれまで通り活動している。将来的には、人数の減少が予測されるため継続的に合同部活動を視野に入れていく。

- 指導者資格を持っている指導者もいるが現役の方もいるため時間を割けない傾向にある。

- 保護者からの集金は、どのように集めるのか。
→年2回程度に分けて事務局が集金する予定。その他クラブ独自の消耗品に係る集金はクラブでの集金でお願いしたい。

- クラブでの活動を通して「スポーツの楽しさ」を味わってもらいたいと思っている。ただ楽しいだけではなく、がんばった先に結果がついてくるといった楽しさを味わってもらいたいとクラブ運営をしている。

- 市内企業や事業所等への働きかけにはどのような方法があるか。
→富山県で実施している「部活動応援企業」の取組がある。賛同、登録していただき、魚津市の企業として部活動を費用面や指導者派遣等でサポートしていただくことができる。また、県の事業だが魚津市の部活動を指名してサポートすることもできる。

- 数年後の学習指導要領の改訂に伴い、中学校の「部活動」の取り扱いについて抜本的な改変が予想される。また、選抜大会(新人大会)の中止や全中大会の種目数減少が現状の流れである。今後のことを考えて、学校部活動の見直し・整理をせざるをえなくなる。休日だけでなく平日の部活動の整理や回数や時間を段階的に整理していく必要がある。教員の関わり方の見直しを含め、地域全体で子ども達のスポーツ環境をどう整えていくかを考えていきたい。

○中体連に関しては競技規則や参加資格も年々変化しており、種目によっても大きく差がある。世代交代に伴うチームづくりのための期間の確保や夏季における熱中症防止からくる日程の変更も進んでいるため、各種大会や等の取り扱いについて中体連のHP等で国や県の流れにも注視していく必要がある。